

ブロックエディタ（Gutenberg） PR Amazon Kindle のマニュアル

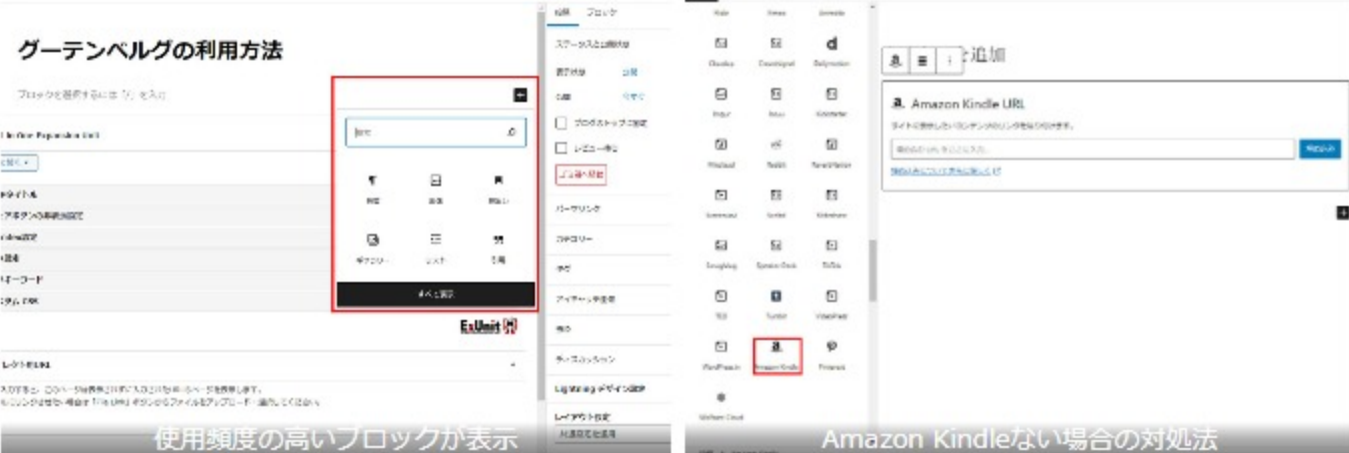


おすすめ度



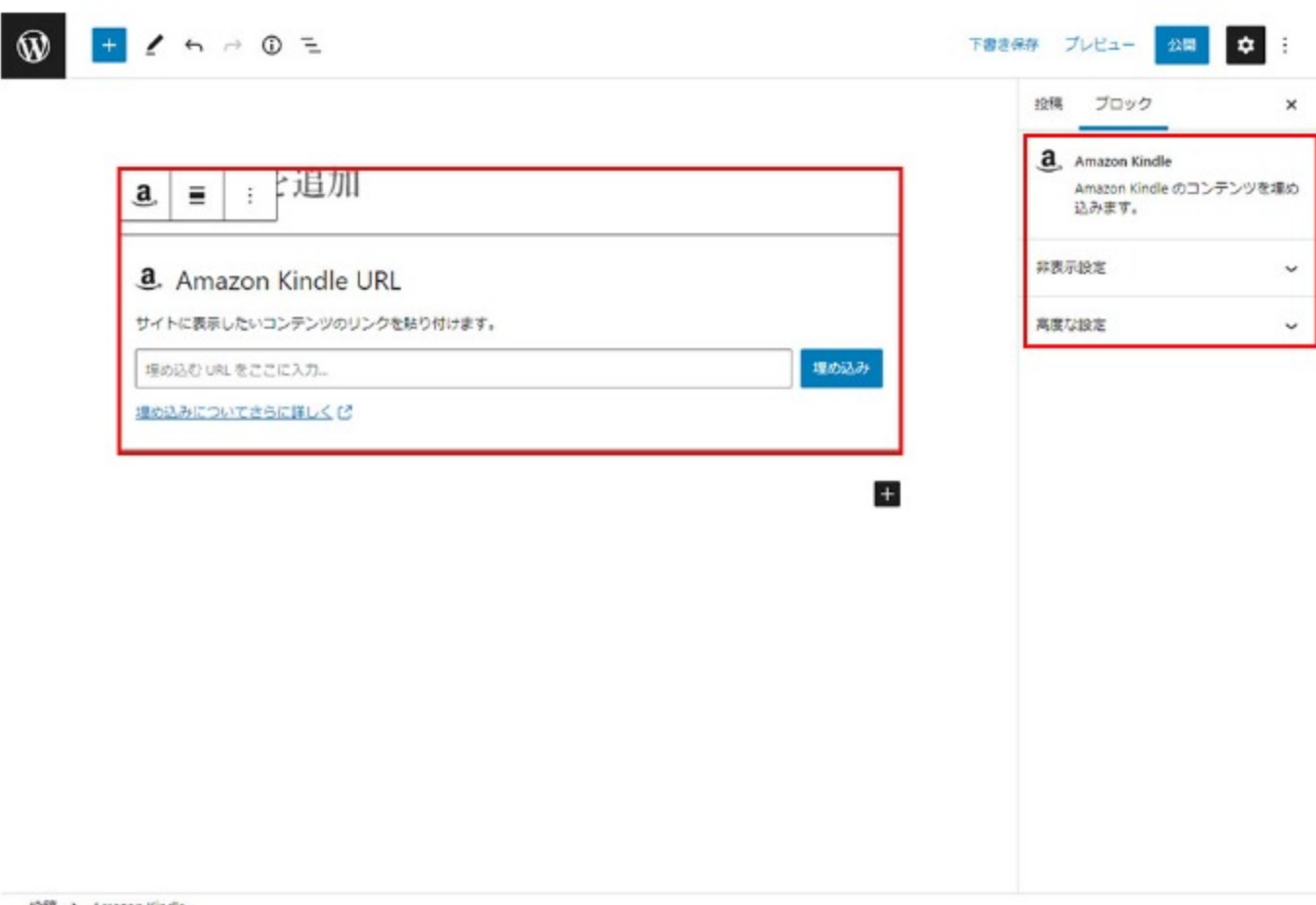
図表による使い方マニュアル

STEP 1 挿入



ブロックの挿入は+アイコンをクリックしてブロックを挿入。赤枠の中から「Amazon Kindle」を選択。

STEP 2 Amazon Kindle設定



Amazon Kindle設定画面

設定方法は右側のサイドバーに表示されます。
※もし表示されてない場合は画面右上のギアのマークをクリックすると表示されます。

Amazon Kindle設定できる内容

ブロック挿入時の場合

Amazon Kindle
Amazon Kindle のコンテンツを埋め込みます。
非表示設定：画面サイズにより設定を表示もしくは未表示の設定が可能
高度な設定：HTMLアンカー（ページ内リンクのみだ歳の設定）、追加CSSのクラス名の指定（.〇〇の先頭部分の.ドット部分は省略。複数クラスを半角スペースで区切ります。）

Amazon Kindle挿入時（メニューバー）の設定



Amazon Kindleメニューバー

選択アイコン



Amazon Kindle選択肢

Amazon Kindle現在選択されているブロック名
挿入するブロックを間違えた場合は、他のブロックに変更できる。があまり選択肢の幅はない。よく使うブロックに限られる。その為このブロックを削除して改めて選択し直す必要があります。

配置



Amazon Kindle配置

Amazon Kindleを左寄せ・中央寄せ・右寄せの3種類から選択できます。
配置を画面いっぱいの「全幅」、コンテンツ幅いっぱいの「幅広」の2種類から選択が可能。

ブロック編集



Amazon Kindleブロック編集

Amazon Kindle設定できる内容
コピー：ブロックのコピー。段落挿入後張り付けるとコピーされる。
複製：ブロックの複製。同じ内容が複製（コピペ）でき上段の作業を1回で行えるメリットがあります。
前に挿入：現在のブロックの前に新たなボックスを挿入することが出来ます。
後に挿入：現在のブロックの後に新たなボックスを挿入することが出来ます。
移動：ブロックの移動
HTMLとして編集
再利用ブロックに追加：該当ブロックを登録して再利用が行えるように登録する。※テーマプラグインにより表示されない場合がある。
グループ化：複数のブロックをまとめる事が出来る。
ブロックを削除

Amazon Kindle まとめ

Amazon Kindleはいかがでしたか？実務ではあまり使う頻度は少ないと思いますが、実際に「Amazon Kindle」を使用すると違った発見があるかもしれませんのでご自身で積極的に「Amazon Kindle」をお試しください。